

SDIオートフェイズロッカー

H I F - F 1

H I F - F 1は、HD / SD - SD I信号に対応し、ルーターやスイッチャーがスイッチング時に発生するCRCエラーを吸収する装置です。そのほかFS（フレームシンクロナイザー）機能・ディレイライン機能を有しており、様々なHDシステムで活躍します。

AVDLと異なり引き込み範囲の制限を受けないため、幅広いシステムが構築できます。



前面パネル

特 長

クリーンスイッチ機能

SDIルーター / プランキングスイッチャーが切り替わる時に生じるCRCエラーを吸収し、クリーンなスイッチングを可能にします。

ハードディスクレコーダやMP E Gエンコーダ、HDMIコンバータ類の誤動作を防止します。

フレームシンクロナイザー機能

非同期の信号を、リファレンスに同期させて出力します。

ディレイライン機能

リファレンス信号が無い場合は、ディレイラインとして使用できます。

入力されたSDI信号に対し、任意に出力位相を調整します

HD / SD両対応

1080i、525iに対応しています。

出力位相調整

出力信号の位相は前面スイッチで調整可能です。入力信号の位相に関係なく、リファレンスに対して±の位相調整が出来ます。

外部基準信号

リファレンス信号は3値SYNC、B . B . 両対応です。

1入力1出力(2分配)

リクロック・イコライザを標準装備しています。

エンベデッドオーディオ、アンシラリーデータ通過

垂直プランキング期間内のエンベデッド音声データ、ANCデータ類が通過します。

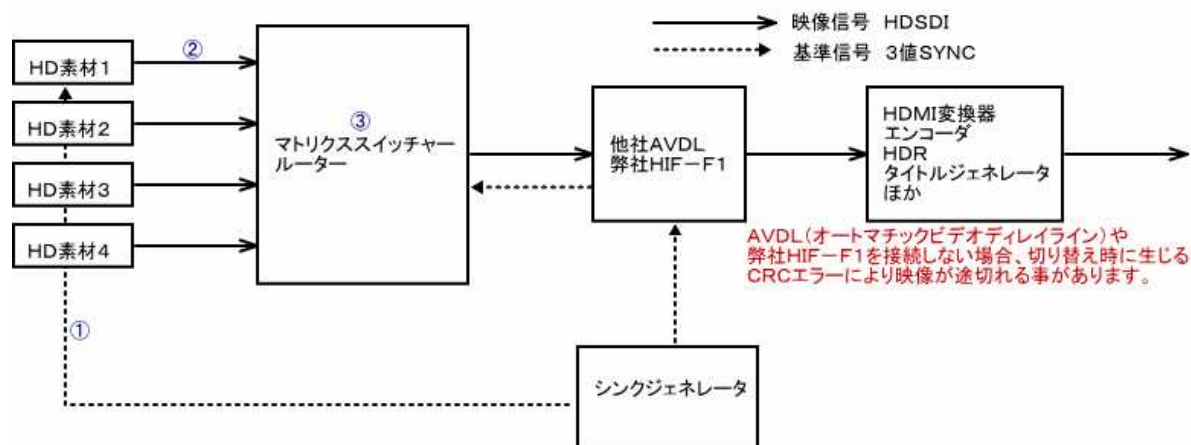


背面パネル

仕様

機種	HIF-F1
対応信号	HD-SDI信号 SMPTE-292M SD-SDI信号 SMPTE-259M
対応フォーマット	1080i/59.94Hz 1080i/50Hz 525i/59.94Hz 625i/50Hz 入力自動判別、フォーマット変換機能はありません。
入力信号	1入力 BNC×1 0.8Vp-p 75 スルーアウト機能はありません。
出力信号	1出力2分配 BNC×2 0.8Vp-p 75
エラー吸収機能	ルーターやスイッチャーの切替時に生じるCRCエラーを吸収 切り替えはブランキング期間内で行う必要があります。 映像期間内で切り替えた場合、画面に乱れを生じますがCRCエラーは発生しません。
基準同期信号	3値SYNC 又は B.B. 自動判別、1スルーアウト
システム位相調整	CORSE (H位相調整幅大): 1ステップあたり±256ドット単位で調整 MIDDLE (H位相調整幅中): ±16ドット単位で調整 FINE (H位相調整幅小): ±1ドット単位 LINE (V位相調整): ±1ライン単位
ディレイライン機能	基準信号断時、入力信号に対し遅延します。 遅延量は上記「システム位相調整」に準じます。
エンベデッド音声/ ANCデータ処理	エンベデッド音声データ 補助ANCデータ 垂直ブランキング期間内データ (TC、VITS) ルーター/スイッチャー切替時は、上記データは失われます。 映像フレームの「追い越し追い越され」により、データの欠落や重複が発生することがあります。
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	約8.6W
重量	約1.3kg
外形寸法	210W×44H×270D mm (突起物含まず)

切り替え時にショックが発生する事例



AVDLとの比較

- ① AVDLは、入力素材の同期がとれている事が必須ですが、HIF-F1は非同期であってもCRCエラーが発生しません。但し、非同期の場合は切り替え時の画面にショックが生じる場合があります。
- ② AVDLは、各入力信号の位相差が規定値以内である事が条件になりますが(引き込み範囲は機器により異なります)、HIF-F1には相対的位相差の条件はありません。
- ③ 通常、使用するマトリクススイッチャーはAVDLと同一メーカーである事が条件になりますが、HIF-F1は接続する機器を選びません。

株式会社システムアート

〒193-0835 東京都八王子市千代町2-15-5 大洋荘101
TEL : 042-673-4181 FAX:042-673-4153
URL <http://www.systemart.jp>
E-mail info@systemart.jp

概観及び仕様は改善の為予告無く変更する場合がありますので、ご注文に際してはあらためてご確認ください。

2011.8.